

大学院(修士課程)を修了するメリット ～ 臨床栄養師資格取得に当たって ～

■臨床栄養師、臨床栄養師研修とは

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を修得し、保健・医療・福祉分野における栄養ケア・マネジメントを担うことができる管理栄養士です。

臨床栄養師研修は、米国の登録栄養士(registered dietitian)の教育制度を基にした研修制度で、100時間の認定講座と900時間の臨床研修、認定試験と論文試験に合格することにより、臨床栄養師の資格が授与され、NST加算要件を取得することができます(臨床栄養師研修募集案内参照)。

研修では、著名な教授陣と第一線で活躍中の臨床栄養師による講義・指導を受けることができ、栄養ケアプロセスによるグループディスカッションの症例検討などがあります。また、様々な臨床現場で臨床研修を受けることができ、診療科・病棟別栄養管理(特定集中治療室等を含める)、栄養サポートチーム、特定保健指導やCKD予防、高齢者の低栄養予防等の栄養指導業務を通して、実践栄養の専門的技術の質の向上を図ることができます。

研修受講は実務経験として履歴書に記載することができ、臨床栄養師資格が授与されると、保険診療の診療報酬における栄養サポートチーム加算(週1回200点)の要件を満たすことができます。

■大学院修了者のメリット

臨床栄養師の資格を、通常より短期間で安価に取得することが可能に！

1. 認定講座(100時間)の一部免除と大学院履修科目による単位認定

- 管理栄養士国家試験合格 → 認定講座100時間のうち16時間^{*1}が免除
^{*1} 栄養アセスメント・栄養ケア計画3時間、特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品の検討4時間、経腸・静脈栄養法2時間、栄養教育(生活習慣病、保健指導)2時間、栄養教育(栄養教育の基礎)2時間、症例検討と発表1時間、集団の栄養評価と計画(業務評価を含む)2時間
- 大学院修了 → 大学院履修科目により認定講座の履修時間に単位互換認定の申請が可能
申請可能科目^{*2}: 栄養アセスメント・栄養ケア計画4時間、経腸・静脈栄養法6時間、栄養教育(生活習慣病)4時間、栄養教育(低栄養状態、カウンセリング・コミュニケーション)6時間、栄養教育(栄養教育の基礎)2時間、症例検討19時間、退院計画・指導4時間、在宅栄養ケア・マネジメント3時間、集団の栄養評価と計画4時間、地域栄養活動2時間、給食経営管理4時間、経営の基礎8時間、の計66時間まで。本学大学院では、最大42時間まで申請可能と見込まれます。

^{*2}履修科目を証明する書類及び履修科目内容を示す書類(シラバス等)の提出が必要

2. 受講料の一部免除

- 認定講座の受講料: 一般121,000円 → 39,600円に
免除となっている科目の受講は自由で、全て受講しても金額は変わりません。
- 臨床研修費用[198,000円(220円×900時間)+手数料11,000円] → 状況により減免
勤務先で研修可能、あるいは勤務先で研修費用を負担してくれる場合もあります。

★詳細は、日本健康・栄養システム学会ホームページ(<https://j-ncm.com/>)を参照